

# IFRS 対応会議の活動状況

せきぐち ともかず  
ASBJ 専門研究員 関口 智和

## 1 はじめに

平成 21 年 7 月に発足した IFRS 対応会議（議長：萩原敏孝 財務会計基準機構（FASB）理事長）<sup>1</sup>は、我が国における国際財務報告基準（IFRS）導入に向けての環境整備に積極的に取り組んできている。前回報告以降、IFRS 対応会議については、開催されていないが、第 5 回国際対応委員会（委員長：島崎憲明 日本経団連 企業会計部会長）会議が開催されている。本稿において、当該活動等について、概要を報告させていただく。

## 2 第 5 回国際対応委員会について

第 5 回国際対応委員会は、平成 22 年 12 月 20 日、メンバー及びオブザーバーが参加した上で開催された。同委員会における主な審議内容は、以下のとおり。

### (1) 最近の IASB、IFRS 等を巡る動き

#### ① 会計基準に関する当局における動向

会計基準を巡る当局における最近の動向について、企業会計審議会における議論や米国証券取引委員会（SEC）から公表された進捗報告書の概要等について、金融庁 古澤企業開示課長より説明がされた。

#### ② IFRS 財団トラスティー会議の様相

IFRS 財団トラスティーにおける最近の取組みについて、平成 22 年 10 月に開催された IFRS 財団トラスティー会議やサテライト・オフィス設置に関する検討状況などについて、島崎トラスティーより説明がされた。

#### ③ ASBJ、IASB のプロジェクト計画表と対応

国際会計基準審議会（IASB）/米国財務会計基準審議会（FASB）による進捗報告書及び企業会計基準委員会（ASBJ）のプロジェクト計画の更新について、ASBJ 西川委員長より説明がされた。

### (2) IFRS 導入準備タスクフォース（TF）からの報告

IFRS 導入準備 TF の活動状況に関して、今後、①IASB への確認が必要という程ではないが TF 参加企業が判断に苦慮したものや、②基準解釈上の問題はないが TF で確認した参考に

1 IFRS 対応会議の概要については、本誌第 26 号（2009 年 9 月 15 日刊行）「特集 1 IFRS 導入に向けて」を参照されたい。

なる情報について、経団連によるセミナーを開催することが検討されている旨について、島崎国際対応委員長及び鷺地参考人より説明がされた。

### (3) IFRS 実務対応グループからの報告

「減価償却費とIFRS」に関するIFRS財団の教育文書について、ASBJ加藤副委員長より説明がされた。本教育文書は、IFRS導入準備TFからの提言を踏まえ、ASBJに設置されたIFRS実務対応グループが中心となって、IASBと協議を進めてきたものであり、減価償却方法等に関するIFRSにおける考え方について、IASB Wayne Upton ディレクターによる個人的な見解という位置づけで公表されたものである。詳細については、当財団のウェブサイト ([https://www.asb.or.jp/asb/asb\\_j/iasb/others/20101203.jsp](https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/iasb/others/20101203.jsp)) をご参照いただきたい。

### (4) IFRS 財団の戦略レビュー

IFRS財団の戦略レビューに関して、IFRS財団からの意見募集の概要、及び、ミッション・ガバナンス・プロセス・ファイナンスの4点に関する当財団からのコメント対応について、高橋事務局長より説明がされた。なお、財務会計基準機構からのコメントについては、平成23年2月にIFRS財団宛てにコメントが提出されている。

### (5) IASB の意見募集「発効日と移行方法」

IASBからの意見募集「発効日と移行方法」へのコメント対応について、アプローチ（単一日又は段階的）、早期適用及び初度適用企業への考慮などを中心に、ASBJ野村常勤委員より説明がされた。なお、ASBJからのコメントについては、平成23年1月にIASB宛てにコメントが提出されている。

### (6) アジア・オセアニア地域における連携強化

アジア・オセアニア地域における連携強化に向けた動き（インド、中国、韓国、オーストラリア等）について、島崎国際対応委員長他より説明がされた。主な概要は、以下のとおり。

- インド…平成23年1月に、IFRS対応会議関係者がインドを訪問（詳細：「4. 日印IFRSダイアログ」参照）。
- 中国、韓国…平成23年1月、日中韓の3か国の会計基準設定主体関係者が中国にて、小規模の会議を開催し、3か国による今後の協力関係について確認。
- オーストラリア…平成23年2月、会計教育研修機構が、IFRS財団Jeff Lucy トラスティやオーストラリア主要企業の関係者等を招き、「オーストラリアから学ぶIFRSの実務的導入」と題するセミナーを開催予定。

### (7) AOSSG 活動報告、平成23年中の主な国際イベント

アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ（AOSSG）の活動状況、及び平成23年中の主な国際イベントについて、ASBJ加藤副委員長より説明がされた。AOSSGの活動状況の詳細については、別稿「AOSSG活動報告」（145頁）をご参照いただきたい。

## 3

### IFRS 財団アジア・オセアニアのサテライト・オフィス設置について

IFRS対応会議では、アジア・オセアニアのサテライト・オフィス設置に向けた取組みが行われてきたが、平成22年10月に開催されたIFRS財団トラスティ会議において、本件に関する議論がされている。このため、平成23年2月のトラスティ会議での正式な決議に向けて、IFRS財団の主要関係者や事務局とオフィスの機能やレイアウト等について、さまざまな

調整がされている（平成 23 年 2 月 オフィスの設置が発表されている。）。

## 4 日印 IFRS ダイアログ

IFRS 対応会議が中心となって立ち上げられた日印 IFRS ダイアログに関連して、平成 23 年 1 月、インド勅許会計士協会の主催で開催された国際コンファレンスに、国際対応委員会 島崎委員長、金融庁 古澤企業開示課長、日本公認会計士協会 篠原常務理事、ASBJ 加藤副委員長他が、「会計プロフェッション：持続的な経済成長に向けて果たすべき役割」に出席した。本出張の概要については、「日印ダイアログ関係 インド出張報告」（147 頁）をご参照いただきたい。